



本年度がスタートして、2ヶ月が過ぎようとしています。清湖小の子どもたちは、それぞれの学年で日々友達と力を合わせながら、成長しています。苦手なことにチャレンジしたり、下級生に優しく声をかけてあげたりと学校生活の様々な場面で、「自分の心を自分で育てる瞬間」があっただけでほしいと願っています。そのような成長の積み重ねが子どもたち一人ひとりの「温かい心」を育てていきます。

道徳の授業では、自分自身を律する心、友達のことを大切にできる心、社会の決まりやルールを守ろうとする心、自然などのすばらしいものに感動する心等、様々な道徳的価値について学びます。ぜひお家でも、「今日の道徳の授業どんなお話だった？」と尋ねて、お子さんと一緒に道徳について話し合ってみてはいかがでしょうか。学校・家庭・地域が一体となって子どもたちの「温かい心」を育てていきたいと考えています。

子どもたちの姿を紹介していきます！

道徳便り「キラキラ通信」では、道徳の授業や、日々の学校生活の中での頑張り・成長（キラキラ輝く姿）を中心に紹介していきます。第1号では、3年生の授業の様子をお伝えします。



「礼儀正しい心」について考えよう (3年)

○事前のアンケートで、礼儀正しい人はどんな人かを聞いてみました。主な意見は次の通りです。

- ・あいさつができる
- ・人の家でくつをそろえる
- ・ていねいな言葉づかいをする
- ・食事を全部食べる
- ・しせいよく聞く
- ・きちんとしている
- ・うなずいて聞く
- ・分からない

「礼儀正しさ」について、何となく分かっている子、「礼儀正しいって何だろう？」と余り考えたことのない子もいました。そこで、資料の2つの場面の男の子の表情を元にして、「礼儀正しい心」について話し合いました。

○どうしてこんな顔になったのかな。



- ・態度が悪かったから。
- ・ぶつかって痛かったから。
- ・ゲームが壊れてしまうから。
- ・良い気持ちが台無しになってしまったから。

自分のことしか考えていない

○知らない人だから、あやまったり、心配したりしなくてもいいんじゃない？

- ・自分も悪かったし、相手がけがをしたかもしれない。
- ・あやまることで、自分も相手も嫌な気持ちがなくなる。
- ・これ以上ひどくならない。



- ・「ごめんなさい。」と言ってくれたから
- ・「だいじょうぶ。」と言われて嬉しかったから。
- ・心配してくれて、優しいなと思ったから。

相手を心配している

相手に声をかけることで、相手にも自分にも良いことがあると気づくことができました。

授業の終わりには、相手のことを考えて、礼儀正しい行動をしている友達を見つけました。また、礼儀正しい行動をしているこれまでのみんなの写真を見て、これからの自分はどのようにしていきたいかも考えました。